

令和3年度実施

相模原市立学校教員募集

Schoolteacher Recruitment in Sagamiara City Public Schools



ここ
相模原で、夢をかなえてみせる。

受験申込期限

令和3年

5/28 金

第1次試験

令和3年

7/11 日



わたしたちの相模原市



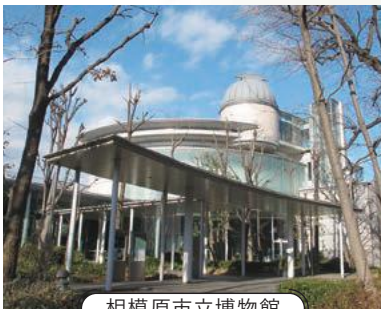
津久井湖周辺



橋本駅周辺



市役所周辺



相模原市立博物館



緑区 青和学園



令和2年に開校した義務教育学校

相模原市立学校データ (令和2年5月1日 現在)

学校数
 * 小学校70校 * 中学校35校 * 義務教育学校1校
児童・生徒数
 ※小学校に義務教育学校前期、中学校に義務教育学校後期を含む
 * 小学校34658人 * 中学校16818人
教職員数
 ※小学校に義務教育学校前期、中学校に義務教育学校後期を含む
 * 小学校2052人 * 中学校1178人

相模原市教育委員会データ (令和2年度)

教育長及び委員
 * 教育長1人 * 教育長職務代理者1人 * 教育委員4人
教育局
 * 教育総務室 * 教育環境部 * 学校教育部 * 生涯学習部
 * 小学校 * 中学校 * 義務教育学校 * 幼稚園

「広域交流拠点」の形成に向けたまちづくり

本市は、リニア中央新幹線の駅が設置される橋本駅周辺地区と相模総合補給廠一部返還地等の土地利用に取り組む相模原駅周辺地区を一体的なエリアと捉え、「広域交流拠点」の形成に向けたまちづくりを推進しています。





相模原市データ(「令和2年度ポケットデータさがみはら」より)

※基準日の記載があるもの以外は、令和2年4月1日現在の数値

市域 面積 328.91km²

人口 722,252人(推計人口)

792都市中(特別区を除く)
18番目に人口が多い都市

区別の人口・世帯数・面積

区別	世帯数(世帯)	人口(人)	構成比(%)	面積(km ²)
総数	329,168	722,252	100.0	328.91
緑区	74,269	170,057	23.5	253.93
中央区	123,592	271,899	37.6	36.87
南区	131,307	280,296	38.8	38.11

※構成比は四捨五入したため合計が一致しない場合がある

コミュニティ

公民館 32館
自治会数 589加入世帯168,654世帯(加入率51.3%)

スポーツ施設

体育館	6館	競技場、陸上競技場	2か所
プール(通年)	3か所	スポーツ広場等	22か所
プール(夏季のみ)	3か所	ニュースポーツ広場	1か所
アイススケート場(冬季のみ)	1か所	(スケートボード、3on3 バasketボール等)	
野球場	6か所	ゲートボール場	3か所
少年野球・ソフトボール場	1か所	マレットゴルフ場	1か所
テニスコート	12か所	トレーニング室	4か所

こどもの施設等

こどもセンター	24館	児童館(児童室)	24館
児童クラブ	68か所	児童遊園	37か所
子どもの広場	88か所		



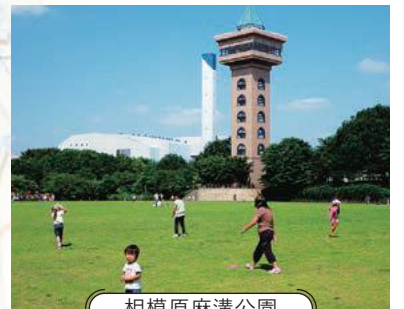
南区
鶴野森中学校



相模大野駅周辺



中央区
富士見小学校



相模原麻溝公園

ホームタウンチーム

本市に活動の拠点を置き、全国での活躍が期待できるスポーツ団体を「相模原市ホームタウンチーム」として認定し、スポーツ振興によるまちづくりを進めています。現在、5つのチームが活躍しており、シティプロモーション等に貢献いただいています。



ノジマ相模原ライズ (アメリカンフットボール) 三菱重工相模原ダイナポアーズ(ラグビー) SC相模原(サッカー)



ノジマステラ神奈川相模原(女子サッカー) Team UKYO SAGAMIHARA (自転車ロードレース)

JAXA 相模原キャンパス 未来を担う最先端技術

小惑星探査機「はやぶさ2」等を生み出した宇宙科学研究の拠点です。

小惑星探査機「はやぶさ2」などの運用を行っている日本の宇宙科学の中心となる研究所。平成30年2月には宇宙科学探査交流棟がオープンし、展示室内では「はやぶさ2」の実物大模型や「はやぶさ」帰還カプセルの実物、屋外にはロケットの実物大模型などが展示されています。





相模原市が目指す教育



教育長
鈴木 英之

教員を目指している皆さん、こんにちは。
相模原市教育委員会教育長の鈴木です。

令和元年度から、新型コロナウイルスの猛威により、皆様も様々な生活の制約の中で、大変な思いをされたことと思います。

本市の小中学校、義務教育学校でも、新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら、児童生徒の学びを確保するためのさまざまな工夫を行っています。感染症への対応は、当面の間、行っていくことが想定されます。そのような状況下ではありますが、児童生徒の成長を優先しながら、子どもたちの主体性を生かした取組を実践し、1人に1台配布したタブレット端末を様々な学習場面で活用するなど、令和時代の新しい学びづくりのチャンスであると捉え、本市の教育をより一層進めてまいります。

さて、本市の教育においては、右のページに大きく記されている通り、「共に認め合い 現在

(いま)と未来を創る人」を目指す人間像としています。

子どもたちには、自分を認めることを通じて、自分以外の人にも良いところがあり、多様な人々がいることを理解するとともに、主体的に学び、行動し、多様な人々と積極的に関わることを通じて成長して欲しいと願っています。

そのために、本市では、義務教育9年間にわたり、「つながる力」「自律する力」「乗り越える力」「見通す力」など社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育む、キャリア教育を推進していきます。

私たち教育委員会は、学校をサポートするために、スタッフの配置や様々な働き方の工夫など、働き方改革もより一層進めていきます。皆さんが、本市で教員になる夢を実現させ、共に本市の教育理念の実現を目指して力を注いでいただけることを願っています。

相模原市の求める教師像



人間性豊かな教師

子どもと共に感動を分かち合い、
情熱をもって夢を語れる教師

信頼され

子どもの願
真剣に向き合い、家
その実現・解





相模原市の教育が目指す人間像

共に認め合い^い^ま現在と未来を創る人

相模原市の教育が目指す人間像の実現に向けて、次の3つを基本姿勢として教育施策を展開していきます。

基本姿勢 1

温かさと先進性のある教育の推進

基本姿勢 2

「縦の接続」と「横の連携」

基本姿勢 3

教育資源の効果的な活用

人間性

信頼性

向上心



る教師

いや悩みに
庭・地域・仲間と共に、
決に努める教師

指導力向上に努める教師

子ども一人ひとりが「もっと学びたい」「もっと知りたい」
と感じる授業を目指し、
その実現のため自己研鑽に努める教師





相模原市の教育

基本姿勢 1 温かさと先進性のある教育の推進

一人ひとりの個性を認めて大切にするとともに、障害の有無や生育環境などにかかわらず誰もが十分に学ぶことができるよう、誰一人取り残さない温かさのある教育と、未来社会を見据え、既成概念や前例にとらわれずに進取の精神で臨む先進性のある教育を推進します。



幼・保・小連携



小学校と中学校の連携の様子



基本姿勢 3 教育資源の効果的な活用

相模原市の教育資源である豊富な人材や豊かな自然環境を活用するとともに、本市らしい教育施策を効果的に展開するため、教育現場の実情を踏まえ、課題のあるポイントに対して重点的な取組を実施します。



教育的ニーズに応じた支援



英語教育



プログラミング教育

基本姿勢 2 「縦の接続」と「横の連携」

幼児期から高齢期までの生涯にわたる学びを意識した「縦の接続」と、学校・家庭・地域住民等や行政が一丸となり教育に取り組む「横の連携」を軸とし、学校教育分野と生涯学習・社会教育分野に連続性を持たせた教育施策を展開します。



相模川自然の村野外体験教室
(若あゆ)



ふるさと自然体験教室
(やませみ)



地域の方の出前授業



学び続ける先生たち

研修体系

	ライフステージ研修	その他の研修
基礎期	非常勤講師研修講座 任期付職員・常勤代替教諭 常勤代替養護教諭研修講座	希望する場合は、教育センター教育指導員が授業を参観し、研究協議を通して学ぶことができます。 年に6回研修があります。 授業づくりや児童生徒の理解について学ぶことができます。
形成期	初任者研修講座 2年次研修講座 3年次研修講座	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <h3>専門研修</h3> <ul style="list-style-type: none"> * 授業力向上研修 * 支援教育研修 * 教育の情報化研修 * 教育課題研修 * 担当者研修 </div> <div style="width: 45%;"> <h3>学校への訪問支援研修</h3> <ul style="list-style-type: none"> * 情報教育訪問サポート研修 * 学校の要請に応じた指導主事等の訪問支援研修 * 教育実践相談 * 東京工業高等専門学校職員の訪問支援研修 * CST*の訪問支援研修 <p><small>※理数系教員 (コア・サイエンス・ティーチャー)</small></p> </div> </div>
向上期	向上期研修講座	
発展期	中堅教諭等 資質向上研修講座	
	学校運営推進者研修講座	
円熟期	新任副校長研修講座 新任校長研修講座 副校長研修講座 校長研修講座	<h3>特別研修</h3> <ul style="list-style-type: none"> * 長期派遣研修 * 特別支援教育専門研修 * 交流及び共同学習推進指導者研究協議会 * 独立行政法人教職員支援機構主催研修



相模原市教育研究発表会

「ともに見つめ、ともに創る子どもの未来」をテーマに、学校教育や社会教育など子どもに関わる様々な立場の人による実践発表を通して意見交換を行い、学びを深めます。



さがみ風っ子教師塾

人材育成のためにこのような取組もやっています!

「とことん考える」「様々な人との対話」「体験からの学び」を大切にしたカリキュラムを通して、教育への情熱、使命感、豊かな心、そして本市教育の発展と充実に寄与しようとする強い意志をもった人材を育てます。





初任者研修講座

児童生徒理解を基にした学級経営や授業づくりについて学びます。

担当指導教員を中心に学校のスタッフみんなで温かくサポート

校内研修(210時間)



勤務学校内で行う研修です。授業に関する研修(授業実践、授業参観等)、学校教育全般に関する研修等を行います。初任者研修の担当指導教員を中心に学校の教職員全員で学びをサポートします。

小グループの協議を重視し教員の基礎を培う

校外研修(13回)



勤務校の外で行う研修で、主に総合学習センターで行います。少人数のグループに担当指導主事がつき、きめ細やかな指導のもと、児童生徒理解、授業づくり・学級づくりの基礎を中心に学びます。

体験活動を通し、自己や他者への理解・仲間との協力の大切さを味わう

体験学習研修(日帰りの1回)



写真は平成31年度の研修の様子です。

市内にある教育施設「相模川自然の村野外体験教室(若あゆ)」で行います。体験活動の価値を実感し、自分と向き合うことや、他者を理解し、共感することの大切さを学びます。

初任者の先生を応援します!

指導員の先生よりメッセージ



拠点校指導員 金井 秀夫
中央中学校

「子どもにとってどうか」を常に問い、どう考え、なぜそう考えるのか…思いを巡らせ頑張っている先生たち。

授業や生徒理解について一緒に考えながらそんな先生たちの応援をしています。

教職への思いや自分の良さを大切に、課題や失敗とも向き合う勇気をもって「先生」として成長していってくれるのを楽しみにしています。

※撮影のために、先生方は子どものいないところでマスクを外しています。

校内の初任者研修について(小学校)

↑



教諭 丸山 純
橋本小学校
(長野県出身)

指導員の先生に学級経営・授業を見ていただいて学ぶことが多くありました。子どもたちとの関わり方について、私自身の課題を指導員の先生に整理・助言していただくなかで、力が伸びたと実感しています。教師の指示を端的にし、子どもたちのつぶやき・意見・表情を把握し、子どもが「教室で学んで楽しい!」と思えるような学級づくり・授業を目指して、学び続ける教師でいたいと思っています。

校内の初任者研修について(中学校)

↑



教諭 荒田 杏奈
新町中学校
(兵庫県出身)

校内の初任者研修では、特に授業に関する研修が印象的です。授業実践で指導員の先生と授業を振り返り、新たな課題を発見するたびに、成長していることを実感できました。

授業参観では、教科問わずたくさん先生の授業を見させていただき、楽しい授業づくりの工夫を学ぶことができました。今後も学び続ける姿勢を大切にしていきたいと思っています。

校外の初任者研修について

↑



教諭 瀬間 柚香
横山小学校
(相模原市出身)

児童生徒との関わり方、学級経営、働き方など、これから教師として働くために必要なことを学ぶ研修がありました。

コロナ禍ではありましたが、オンラインでの授業公開や協議会、少人数でのグループディスカッションを通して、自分の授業や学級経営を見直し、活かすことができました。

また、悩みや不安を同期の人達と共有したり、アドバイスをもらったりすることで違う考え方があることに気づきました。



チーム相模原 ～働きやすい職場を

学校における働き方改革宣言 ～教職員の笑顔が子ども達の笑顔をつくる～

相模原市では、教員が授業やその準備など、教員としての本来業務に専念し、質の高い学校教育を行えるよう「学校現場における業務改善に向けた取組方針」を策定し、教員の働き方改革を進めています。

「学校現場における業務改善に向けた取組方針」に掲げる 7 つの視点

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 意識改革と学校運営マネジメントの強化 | 5 学校におけるICT活用の推進 |
| 2 学校における徴収金事務の改善 | 6 調査・アンケート方法等の見直し |
| 3 部活動における負担の軽減 | 7 会議及び研修の精査・精選等による効率化の推進 |
| 4 専門スタッフの拡充や職場環境の改善 | |

私の「働き方改革」



学年で情報共有を大切にし、子ども達が学びやすい環境づくりをしています

教諭 杉尾 香織
共和小学校



授業に関わる掲示物を見る児童

仕事の効率化を図るために、学年での連携を大切にしています。

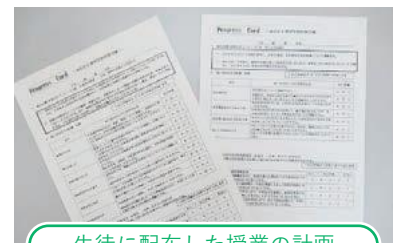
困ったことや、子ども達のことはすぐに学年で共有することで、一人で考えるよりも良い解決方法が見つかり時間短縮になります。授業で使う教材は、学年で分担して準備しています。その教材を使った後は、必ず子ども達の反応を共有することで今後の教材研究に役立てています。

また、教室には教材や道具などをいつでも使えるように準備しておくことで子ども達が自主的に活動できるようにしています。そのことにより、子ども達の様子が捉えやすくなり児童理解を深めることに役立っています。



単元の最初に生徒へ見通しをもたせ、テストは自動採点機能を活用しています

教諭 中村 将雄
大野北中学校



生徒に配布した授業の計画

授業準備では単元ごとに生徒に身につけさせたい力をシラバスのような形で単元のはじめに配布する活動をしています。これにより、単元を通しての授業の計画を事前に行うことができ、「次の授業をどうしようか」といった考える時間を短縮しスムーズに教材研究を行うことができます。

また、今年度から定期テストや単元テストを行う際に、自動採点機能の活用を始めました。これにより、採点に要する時間を削減できたほか、データの管理も一括化して行うことができ、確認作業や結果の打ち込みといった業務の短縮化ができました。

※撮影のために、先生方は子どものいないところでマスクを外しています。



学校の新型コロナウイルス対策

学校では、朝の健康観察や手洗いの指導、換気、消毒等、子どもたちの安心・安全を守るために、全職員で協力して感染症対策に努めています。

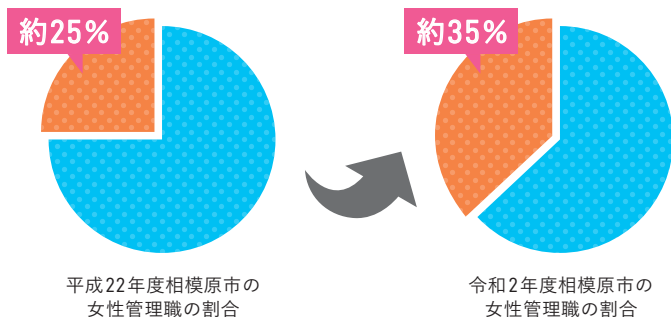
例えば、保健室では体調不良とそれ以外の来室者の入口を分けるなど、感染のリスクを減らす工夫をしています。自ら進んで自分や周りの人の健康を守ろうとする力を育むために、学校では日常の感染症対策を子どもたちの「生きる力」につなげることを目指し、教職員が連携して取り組んでいます。



けがと体調不良の入口を分けているようす

女性管理職の登用

本市では、女性教員の人材育成と積極的な活用を図っています。女性管理職の登用については、全国の小学校が25.3%、中学校が11.5%であるのに対し、本市小中学校は約35%（小学校・義務教育学校前期課程46.5%、中学校・義務教育学校後期課程15.9%）と大きく上回っています。



平成22年度相模原市の女性管理職の割合

令和2年度相模原市の女性管理職の割合

相模原市の育児支援

相模原市では、本市の未来を担う子どもたちが、将来に夢と希望を持ち、健やかに成長できるための環境づくりを進めています。子育て世代に対して、妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため、子どもの福祉・子育て分野の窓口を一本化した子育て支援センターを設置しているほか、小児医療費助成の充実、保育所や児童クラブの待機児童対策の推進、子どもの居場所づくりなど、子ども・子育て環境の充実に取り組んでいます。

育児休業の経験を通して ～令和元年度に男性で54日の育児休業～



周りの支えが、
復帰後頑張る原動力に

教諭 山本 渉平
大沢小学校

Q1 育児休業を取ろうと決めたくっかけなどがありましたら教えてください。

もともと子育てに興味があり、妻との話の中で、大変な新生児から2人で力を合わせて育てていこうという思いがありました。その中で、男性も育児休業がとれるという話を聞き、職場の先生方と相談しながら進めていきました。

Q2 育休中や復職後の周りの職員のサポートはありましたか。

ありました。育休に入る前には、代替の先生を呼んでくださったり、学年の中でも仕事の担当を考慮してくださったり、様々な場面でサポートをしていただきました。支えていただいた分、復帰後は少しでも周りの先生に恩を返していけるように、頑張る原動力にもなりました。



相模原市で採用 ①年～③年の先

発問一つで、 子どもは目の色を変えて 課題に取り組む

教諭 酒本 瑤希 橋本小学校



大学から新卒で採用
本市採用後の教員経験:1年間

Q1 教員という仕事の魅力や、やりがいを教えてください。

発問一つで、子どもは目の色を変えて課題に取り組むことを実感しました。「子どもの考えを引き出すため、どのように言葉かけをすればよいか」と考える分、子どもの素直な考えに触れることができます。そこにやりがいを感じています。

Q2 この一年間で特に力を入れて取り組んできたことは何ですか。子どもがじっくりと自分で考える時間を大切にしました。また、

子どもがどんなことに困っているか、子どもの立場になって一緒に考えるようにしました。

Q3 採用前に不安に思っていたことを教えてください。また、その不安が解消された場合、どのような事由から解消されたか教えてください。

私は普段、楽観的な性格です。しかし、採用が決まってから、「先生」として子どもの力を伸ばせるのか、子どもと向き合うことができるのか不安になりました。そんな時、相模原市内の小学校で学習支援ボランティアをさせていただくことができました。そこで、実際に子どもたちと接する機会を多くもち、現場の先生方の姿を見て学ぶことで少しずつ不安が和らいだように感じます。



授業中に英語のシャワーを たくさん浴びせる

教諭 田中 誠二 新宿小学校



小学校英語コースの採用
本市採用後の教員経験:3年間

Q1 中学校の英語ではなく、小学校の英語コースを選んだ理由を教えてください。

中学校や高校の教育実習・教育ボランティアをした際に、低年齢期の英語教育の重要性について深く考えさせられました。もちろん現場を体感することで、中学校や高校の英語教育もとてもやりがいのある仕事だと感じました。しかし、やはり子どもたちにとって初めて英語に触れる時期である英語教育に自分は携わりたいと思い、

小学校の英語コースに決めました。「英語を学ぶことは楽しい。」「英語をしゃべりたい」と感じる子を育てたいです。

Q2 現在は、英語の語学力をどのように生かしていますか。

現在、私は5・6年生のすべてのクラスの外国語科の授業を担当させていただいています。ALTと授業の打ち合わせや評価に関することなどの細かい打ち合わせの際に、英語がとても役立っています。また、授業中に児童から「なんて英語で話せば良いのですか。」と聞かれた際に、語学力が生きているように感じます。

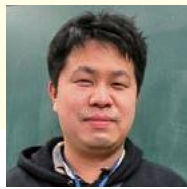
Q3 小学校で外国語教育をすることの魅力をお願いします。

外国語教育を受ける上での最初の指導に携われることが、小学校の外国語教育の魅力だと思います。授業中に英語のシャワーをたくさん浴びさせ、児童の使用する語彙が増えていき成長する姿にはいつも驚かされます。



できることが増えていく 子どもの姿を間近で 見られる喜び

教諭 大谷 将輝 二本松小学校



小学校特別支援学級の担当
本市採用後の教員経験:3年間

Q1 特別支援級の担当として喜びや苦勞を教えてください。

児童一人ひとりの様子をしっかりと見て、できることが増えていく姿を間近で見られることが嬉しいです。一方で学年や学習の早さが皆違う中で指導をする難しさを感じますが、教材を工夫して覚えることができている姿を見られる喜びの方が強いです。

Q2 特別支援の指導力を高めるためにどのようなことを努力していますか。

一人ひとりに合った指導内容を決めるために、困ったら学習指導要領を見るようにしています。特別支援学校、小学校の2つを見比べながらその児童に合ったものをそれぞれの教科ごとに決めるようにしています。

Q3 児童と接する時に工夫していること、大事にしていることを教えてください。

授業中ははじめをつけて真剣に取り組む、個別学習では分からない問題は日常生活に関連させたり、児童自身が辞書などで調べたりするように指導をしています。

その一方、休み時間は児童と問題を出し合ったり、遊んだりメリハリをつけて児童と接するようにしています。



※撮影のために、先生方は子どものいないところでマスクを外しています。



熱心に語り合う 相模原市の先生の姿に感動

教諭 小森 恵 内出中学校



他市で教職経験後に採用
本市採用後の教員経験:3年間

Q1 相模原市を受験した理由を教えてください。

他市で勤務していた時から、知り合いの相模原の先生の紹介で夜間の授業研究会に参加していました。相模原市内の研究会に参加させていただき、その際に授業中の生徒のちょっとした仕草やつぶやきについて具体的な場面を元に語りました。授業の中で生徒の学びがどこで深まり、どこで逸れてしまっていたのか、授業から学べることは何かを熱心に語り合う先生方の姿に感動して、こんな現場があるのか、こんなところで働きたいと思ったからです。

Q2 相模原で先生をやってよかったと思うことは何ですか。

地域の方との連携がとりやすく、相模原をよりよくする持続可能な方法を考える熱意のある方々が学校を支えてくれていることです。地域社会の一部として学校が機能していると感じます。また、JAXAや市立博物館なども連携しながら学びを作り出せることも大変魅力的です。未来の子どもをみんなで育てようという強い思いを感じます。

Q3 先輩の先生方からのアドバイス等や、助けてもらったことなどエピソードがありましたら教えてください。

今の職場では、同僚から授業について助言をもらうことが多く、みんなで一緒に考えているという感覚があります。先輩から後輩からという垣根にあまりこだわりを感じません。目の前の生徒の姿から、自分たちの実践を振り返ることに取り組んでいる職場ということもあり、話しやすいです。授業で取り組もうとしていることを説明して、ワークシートを見てもらい改善点をあげてもらうことは日常茶飯事です。



温かい言葉かけや 小さなことにも気づいて ほめることを意識

教諭 佐藤 匠 弥栄中学校



中学校特別支援の採用
本市採用後の教員経験:2年間

Q1 特別支援の担当として喜びや苦勞を教えてください。

異なる一人ひとりに合わせながら一つの授業を作っていくことの難しさはありましたが、授業の準備にどれだけ時間がかかっても、子どもたちの「できた！わかった！」を見ると苦勞が報われました。

Q2 特別支援の指導力を高めるためにどのようなことを努力していますか。

特別支援学級の教員は国語や算数・数学を教える時間も多く、自分の専門教科以外の幅広い知識が必要です。そのため、小学校の教科書や先生方の実践例を参考にしよりわかりやすい授業作りに日々取り組んでいます。

Q3 この一年間で特に力を入れて取り組んできたことは何ですか。

今年は急な日程変更が相次ぎ、不安を抱える生徒が多くいました。この不安を少しでも取り除けるよう予定の視覚化を行い、先の見通しが持てるようにしました。また、クラス内で安心して過ごせるよう、温かい言葉かけや、小さなことにも気づいて褒めることを意識して取り組みました。



「歩く保健室」を 目標にしています

養護教諭 渡邊 南 新町中学校



養護教諭の採用
本市採用後の教員経験:2年間

Q1 養護教諭やりがいや大変さを教えてください。

生徒への声かけや支援・指導の仕方で迷ったり悩んだりすることも多いですが、入室した生徒が「先生と話せて安心しました」と笑顔になったり、学校生活を元気に送っている姿を見たりしたときに、養護教諭としてのやりがいを感じます。

Q2 生徒と接する時に工夫していること、大事にしていることを教えてください。

小さな訴えでも、最後までじっくりと話を聴き、「あなたのこと

を知りたい、大切に思っている」という気持ちで生徒に接しています。入室したときの表情から退室した後ろ姿まで観察し、生徒に合った対応ができていくか常に自問自答しています。

Q3 今年一年間、特に力を入れて取り組んできたことは何ですか。

感染症対策について、先生方と連携し環境管理や生徒への指導を行いました。また、委員会生徒とともに生徒の生活習慣や感染症に対する意識を調査・分析し、全校で発表しました。生徒がすすんで感染症対策を行っている姿がみられるようになりました。

Q4 これからどのような養護教諭になりたいか教えてください。

「歩く保健室」を目標にしています。学校のどこにいても子どもの心身の健康を気に掛け、元気を与えられるような存在になりたいです。専門職として学び続けることや、子どもや教職員・保護者との日々のコミュニケーション、笑顔を大切にしていきたいです。





先輩の先生方より

相模原市で一緒に 働く皆さんを待っています

校長 中山 章治 淵野辺小学校



Q1 校長としての仕事の内容を教えてください。

学校教育の内容、児童、教職員、安全など、学校運営に関わるすべてが仕事となります。中でも子どもたちや地域の実態から学校教育目標を設定し、具体的な計画などを全教職員で共通理解を図り実践します。その結果を評価、反省し、また保護者・学校評議員の皆さんのご意見をいただき、次年度計画に役立てていくことが中心になります。また昨年度はかきませんが、学校の代表として地域の会議に参加し、学校の様子や取組を報告、説明します。「地域の学校」であるため必要なことと思っています。そのおかげで、いろいろな場面で学校、児童・教職員を支えていただいています。

Q2 校長のやりがいや難しさはどんなところにありますか。

子どもたちの笑顔や成長を見たり、感じたりすることができたとき、先生方が達成感、充実感を味わえたと思われたとき、保護者や地域の皆さんに「よかった」と声をかけられたときなどです。

また、様々な判断をしなければならないことがあり、あとで良かったのか、別な方法が良かったのかと悩むことが多いです。

Q3 教員採用試験受験者への応援メッセージをお願い致します。

教員は日々やらなくてはいけない業務があり、加えて突発的に対応しなければならないことも生じるため、忙しいとされる職業です。しかし、教員は保護者の次に見本となる身近な大人となるため、子どもたちにとって大きな存在になると思います。それだからこそやりがいを感じられるのだと思います。相模原市で一緒に働く皆さんを待っています。頑張ってください。



若い先生達が前向きに 学んでいくことに寄り添いたい

指導教諭 清田 英孝 新磯小学校



Q1 指導教諭の仕事の内容を教えてください。

勤務校や近隣校の先生に、授業を見せたり、授業づくりの相談に乗ったりしています。若い先生の授業を参観してアドバイスをすることもあれば、相談しながら一緒に授業づくりをすることもあります。

Q2 授業づくりで大切にしていることはどのようなことですか。

「子どもの声をきく」「子どもに



力をつける」は特に大切にしています。声にならないものも含め、子どもの考えに耳を傾けると、主体的な学びが生まれます。また、子どもに力がつくように、授業のねらいを明確に持つことを意識しています。

Q3 指導教諭のやりがいや難しさはどのようなところにありますか。

昨年度、初任者と一緒に授業づくりをしました。「教師が準備をした分だけ、児童も考えることができるというのを学びました。」

これは、授業後の感想です。若い先生達が前向きに学んでいくことに寄り添えることが、一番のやりがいです。



「食のスペシャリスト」として

栄養教諭 武田 麻美 田名小学校



Q1 栄養教諭として、どのような仕事をされていますか。

学校の給食管理(栄養管理や衛生管理等)と食に関する指導です。食に関する指導は、給食時間や教科等で担任の先生と連携して行っています。その他に、市内の食育推進のための小中学校への食育支援も行っています。

Q2 どのような場面で児童と接することありますか。また、児童と接する際は、どのようなことを心がけていますか。



給食時間や委員会活動、食に関する授業に限らず、校内で児童と接する機会が多くあります。

授業の中では、特に「食のスペシャリスト」として、児童に具体例を示しながら、説得力を持って指導ができるように心がけています。

Q3 栄養教諭のやりがいや難しさはどのようなところにありますか。

児童から「今日の給食もおいしかった」や「〇〇が苦手だけど食べられた」という声を聞くとやりがいを感じます。食育の推進は、栄養教諭一人だけで行うのは難しいので、校内・家庭・地域との連携を大切にしています。



※撮影のために、先生方は子どものいないところでマスクを外しています。



協力・協働の職場づくり

副校長 福岡 修一 新町中学校



Q1 副校長としての仕事の内容を教えてください。

学校業務全体の総合的な調整・整理をはかるとともに、保護者や地域等の対外的な窓口にもなります。子どもたちが安心して楽しい学校生活を送れるよう、教職員への適切な助言・指導を心掛けながら、協力・協働の職場をつくります。

Q2 副校長として職員室にて、心がけていること(大事にしていること)を教えてください。

教職員一人ひとりが、元気に笑顔で子どもたちに向き合えるよう、前向きな言動を心がけています。そのために常に「謙虚」でいること、「気配り」を忘れないこと、「洞察力」を鍛えること、を大切にしています。

Q3 副校長の仕事のやりがいや難しさはどのようなところにありますか。

集団づくりが難しいです。それだけに学年や分掌内で、課題解決に向けた活発な議論が行われ、様々なアイデアが出た時は、組織マネジメントという観点から大きな喜びを感じます。

Q4 教員生活の中で、印象に残っている出来事・エピソードを教えてください。

3年の担任の時、体育祭優勝、文化祭舞台部門最優秀賞、合唱コンクール最優秀賞と3冠を達成し、学級の生徒全員にグリーンホールで胴上げをしてもらったことは今でも忘れません。

Q5 休日の過ごし方や、ワークライフバランスについて意識されていること・実践されていることを教えてください。

仕事は家に持ち帰らず、家で仕事の話は自分からはしません。休日は、車やバイクに乗って釣りに行くことが一番のリフレッシュです。日頃、人を相手にしている仕事なので、自然や機械との対話を楽しんでいます。



組織で個に応じた体制づくりに努める

総括教諭(生徒指導)
鈴木 留美子 清新中学校



Q1 総括教諭(生徒指導)として、どのような仕事をされていますか。

学校だけでは解決が困難な事案(不登校、虐待、自傷行為、非行等)に対して、管理職の助言や外部機関の協力を得ながら、組織で個に応じた指導体制づくりに努めています。言わば現場と外部機関との連絡・調整役です。

Q2 総括教諭(生徒指導)のやりがいや難しさはどのようなところにありますか。

指導が徒労に終わることもありますが、手がかかった生徒

ほど、終業時や卒業時に「先生ありがとう」と口にします。その魔法の一言でこれまで教師を続けられたのだと思います。生徒と共に成長できるのも教師の醍醐味です。

Q3 生徒と接する際は、どのようなことに心がけていますか。

命や法に触れる事案には、厳しく即効性のある「抗生物質的指導」その他は、緩やかな効き目でじんわりと心に染み渡る「漢方薬的指導」を心がけています。

Q4 先生を目指すみなさんに応援メッセージをお願いします。

子どもはエネルギーの塊です。腹が立ったら泣く、気に入らなかつたら無視する、嬉しかったら寄ってくる。その素直なエネルギーを、日々、全力で受け止めてください。お会いできることを楽しみにしています。



保健室はホッとできる空間、自分はホッとできる存在でありたい

総括教諭(養護教諭)
鈴木 芳子 上溝南中学校



Q1 総括教諭(養護教諭)の仕事について教えてください。

子どもたちの心身の健康を守り育て、安全で安心な学校生活がおくれるように、主に保健管理・保健教育など、学校保健の分野においてリーダーシップをとり学校運営に関わっています。また、ハード・ソフト両面で職場のよりよい環境作りを心がけています。

Q2 児童・生徒と接する際は、どのようなことに心がけていますか。

子どもひとりひとりの存在価値を認め、“あなたには将来があり、限りない可能性があるんだよ”というメッセージを

伝えるようにしています。

Q3 養護教諭の総括教諭のやりがいや難しさはどのようなところにありますか。

子ども達の心身の健康課題は年々多様化・複雑化しており、一筋縄ではいかないことばかりです。でも、スクールカウンセラーなどを含めた校内のチームで取り組み、子どもの笑顔がもどった時は、皆で喜びを分かち合います。チームの中で切磋琢磨する事ができる環境に感謝しています。

Q4 養護教諭を目指すみなさんに応援メッセージをお願いします。

さがみはらの未来を創造する子どもたちの心身の成長発達を一緒に支えていきましょう！養護教諭は各校1～2名ですが、養護教諭同士の心強いネットワークもあるので安心です。そして何より、子どもたちは、とっても可愛いですよ。



令和3年度実施

相模原市立学校教員募集

勤務条件

- 給与 246,509円(新規大卒 初任給)(令和2年4月1日)
※給料・教職調整額・地域手当・義務教育等教員特別手当を含む
※給与は、相模原市学校職員の給与に関する条例等に基づき給与月額を決定します
※個人の状況に応じて通勤手当・扶養手当・住居手当等も支給されます
- 勤務時間は、原則として1週間につき38時間45分です



A. Koshida

相模原市には、小惑星探査機「はやぶさ2」等を生み出した宇宙科学研究の拠点のJAXA相模原キャンパスがあります。

イラスト：池下章裕

志願者説明会(動画配信)を実施します。

配信期間

4月19日(月)～5月28日(金)

お問い合わせ

相模原市教育委員会 教職員人事課(相模原市役所第2別館4F)

相模原市の学校で働く

検索



相模原市教員採用情報

検索



相模原市教員採用選考試験

検索



相模原市も
推進して
います!

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは、2015年に国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲットから構成されており、「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

Facebookで
「いいね!」してね

教員採用試験の電子申請はこちら

